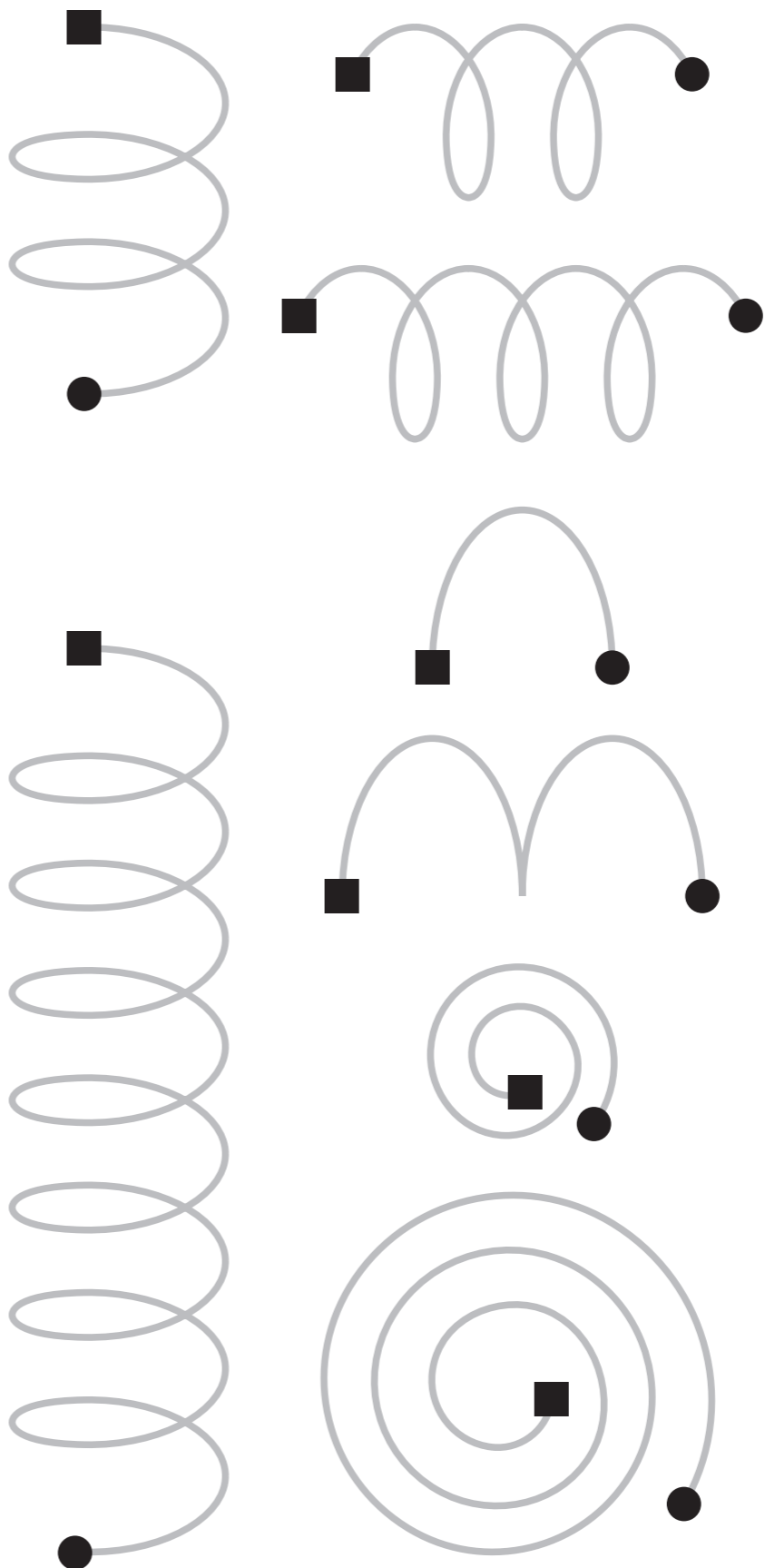
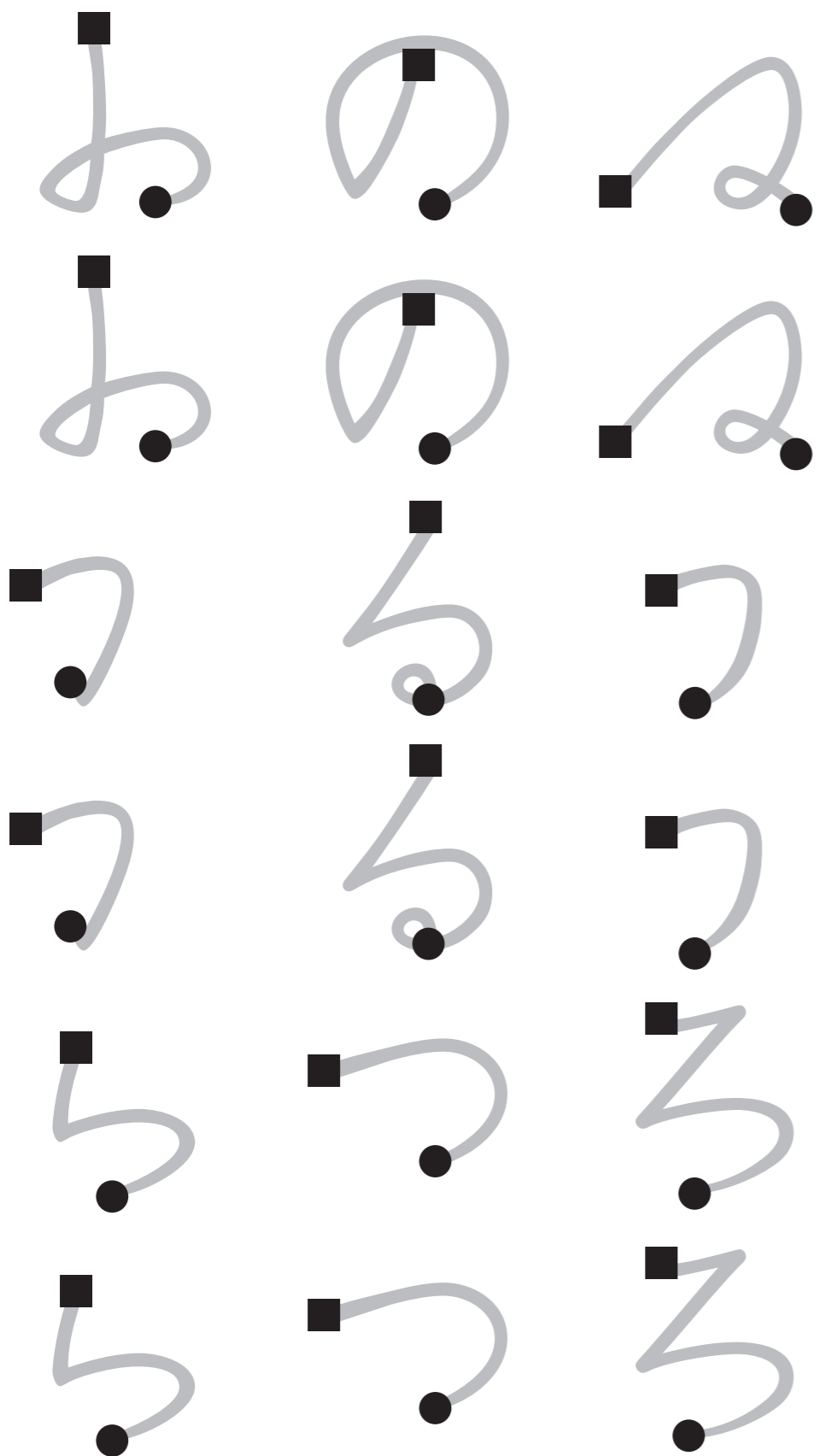


① —の うえを えんぴつで ■から ●まで なぞりましょう。



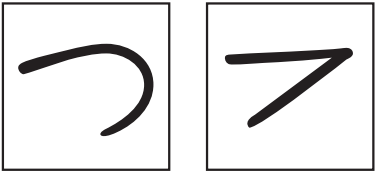
② —の うえを えんぴつで ■から ●まで なぞりましょう。



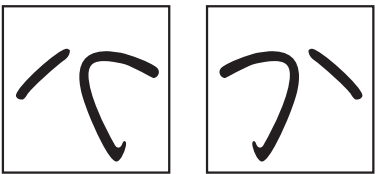
鉛筆を握るときはほとんど力を入れず、軽く持って書きましょう。鉛筆で自由に線をかくことができるようになります。「書く」力がぐんとのびていきます。「書く」力は学力をつける上で、非常に大切な力ですから、このプリントは、じっくり取り組んでほしいものです。

① おてほんとおなじかたちはどちらでしょう。おなじかたちを
○でかこみましよう。

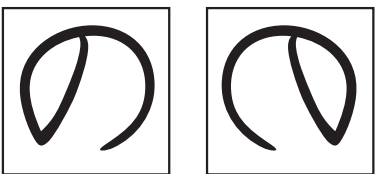
① おてほん



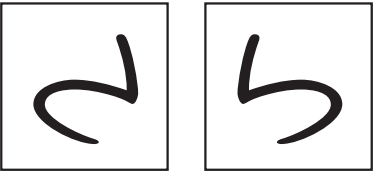
② おてほん



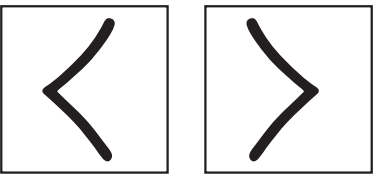
③ おてほん



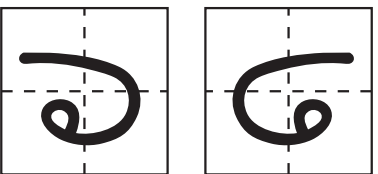
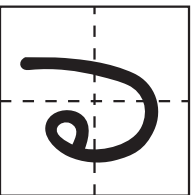
④ おてほん



⑤ おてほん



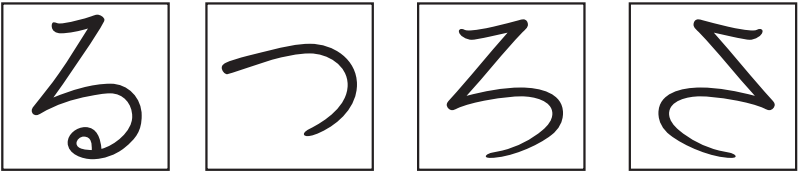
⑥ おてほん



② おてほんとおなじかたちはどれでしょう。おなじかたちを
えらんで○でかこみましよう。

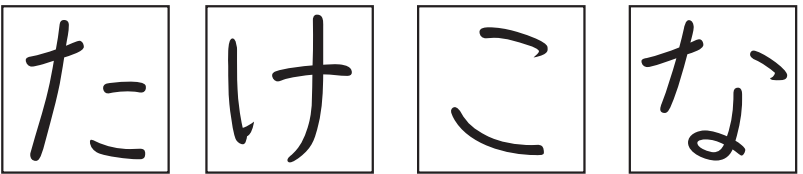
①

おてほん



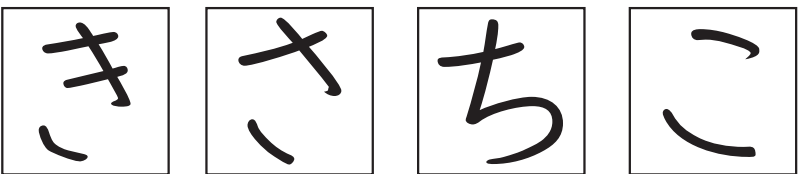
②

おてほん



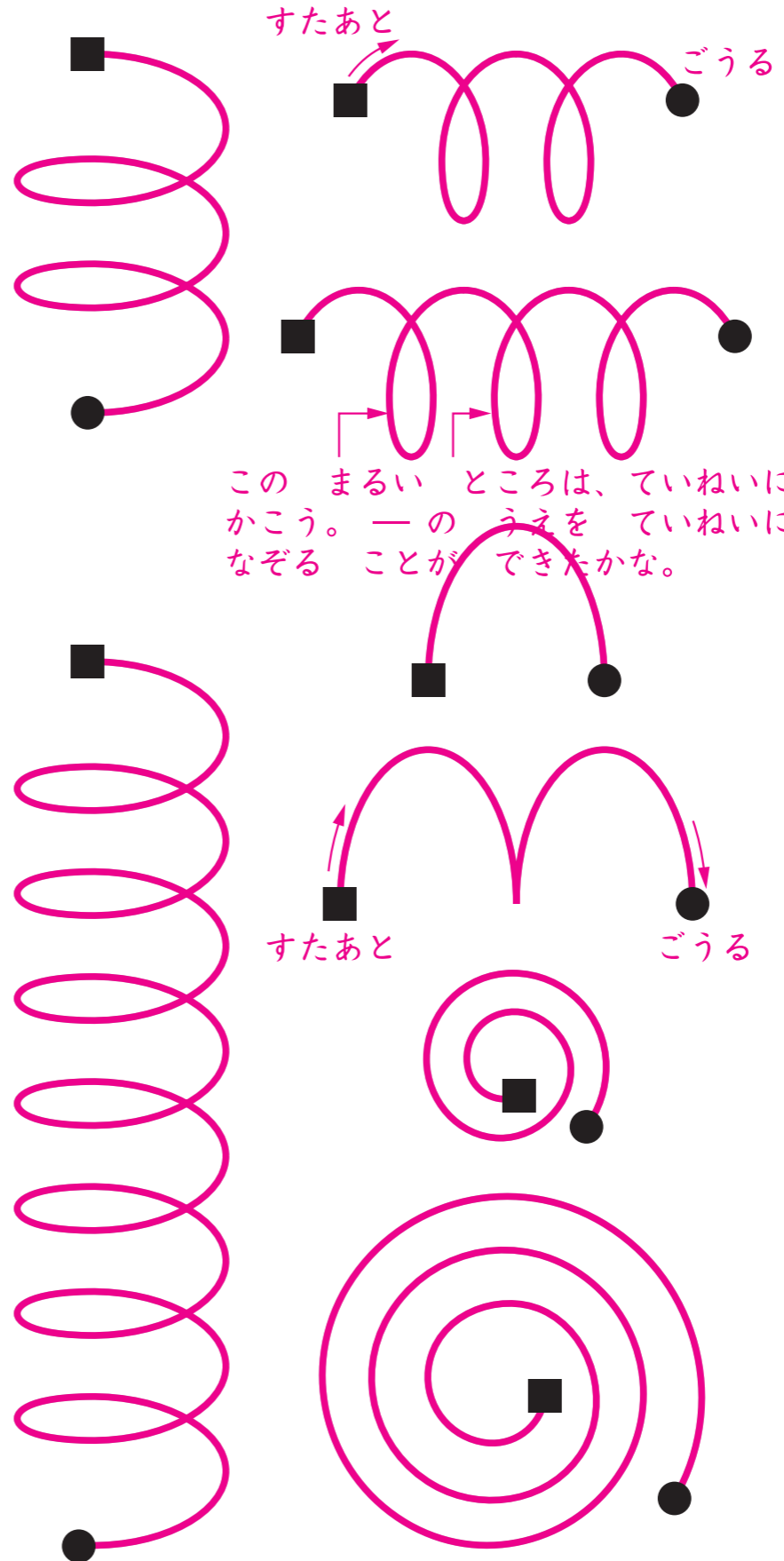
③

おてほん



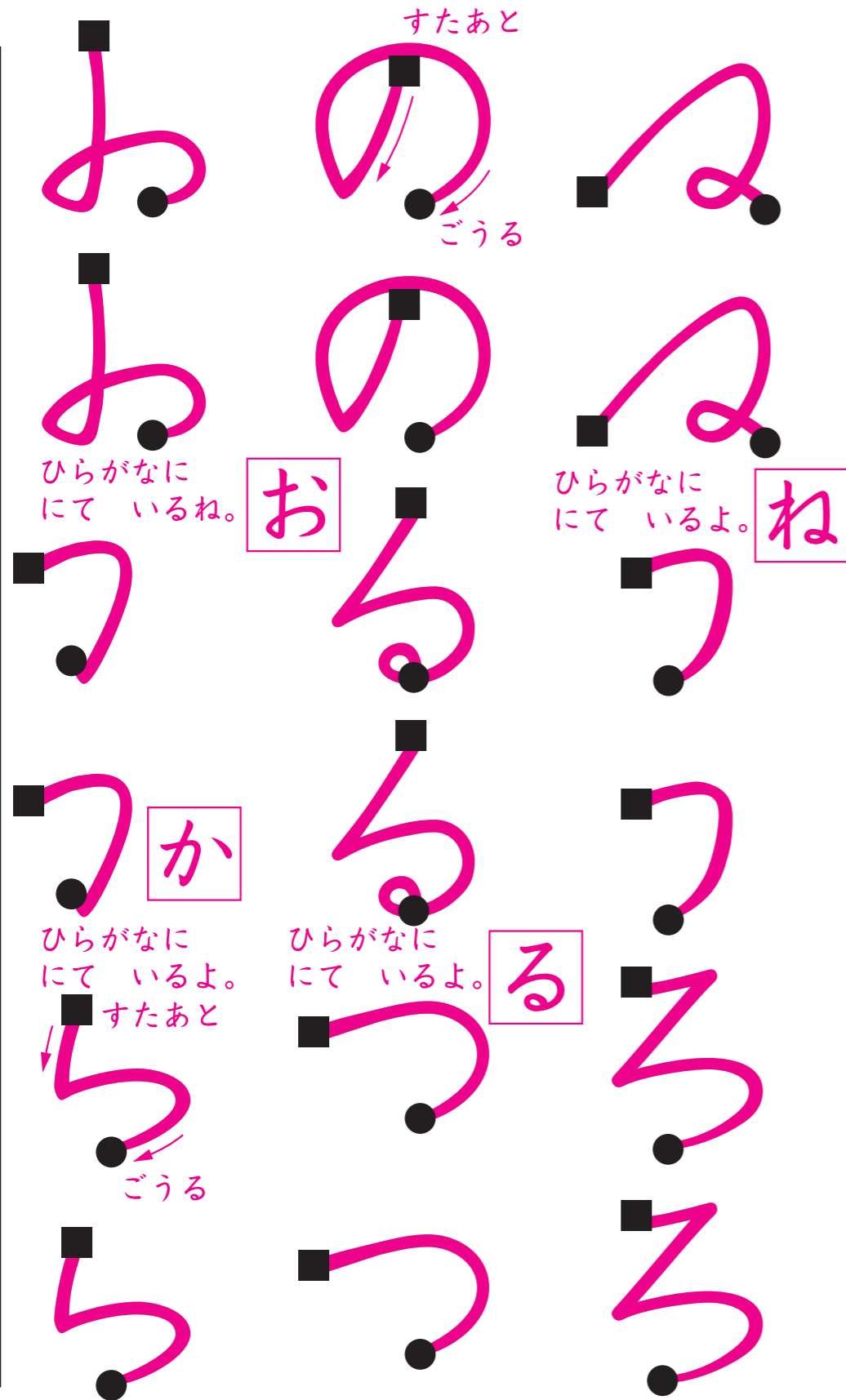
文字を書くためには、形を見分ける力が必要です。このプリントには、同じ形を見分ける問題がでてきます。線の向きや位置をさがしてください。逆向きになっていると同じ形と間違えてしまうことがあるので、お子さんの答えをよく見てあげてください。

① —のうえを えんぴつで ■から ●まで なぞりましょう。



—からはみださないように かこう。

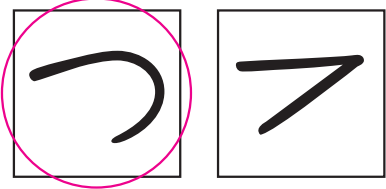
② —のうえを えんぴつで ■から ●まで なぞりましょう。



鉛筆を握るときはほとんど力を入れず、軽く持って書きましよう。鉛筆で自由に線をかくことができるようになると、「書く」力がぐんと伸びていきます。「書く」力は学力をつける上で、非常に大切な力ですから、このプリントは、じっくり取り組んでほしいものです。

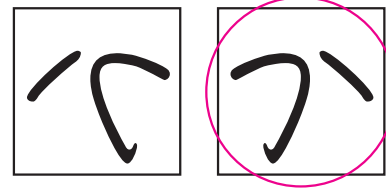
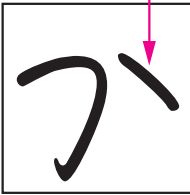
① おてほんとおなじ かたちはどちらでしょう。おなじ かたちを
○で かこみましよう。

① おてほん

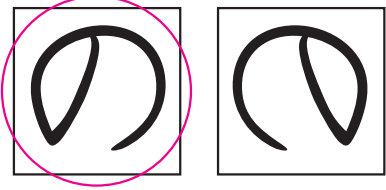
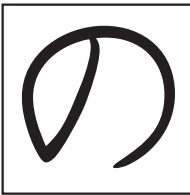


の ついて いる
ところを よく みよう。

② おてほん



③ おてほん

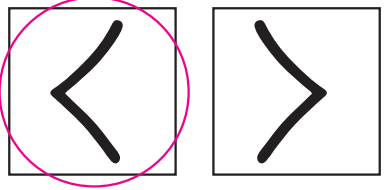
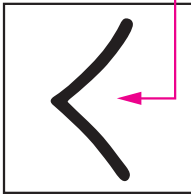


④ おてほん



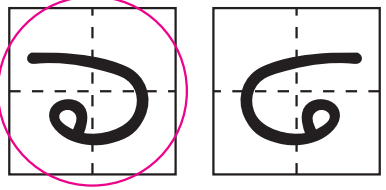
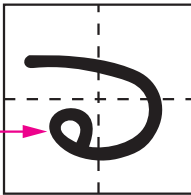
みぎがわが
ひらいて います。

⑤ おてほん



は ひだりしたの
ますに ある。

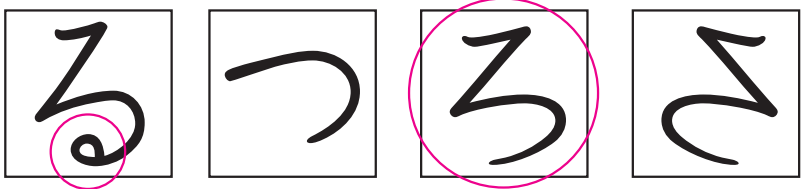
⑥ おてほん



② おてほんとおなじ かたちは どれでしょう。おなじ かたちを
えらんで ○で かこみましよう。

①

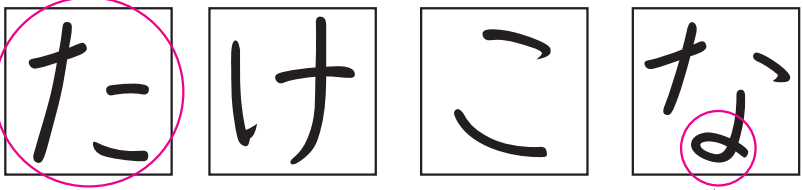
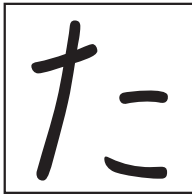
おてほん



おてほんには、
この まるが ないよ。

②

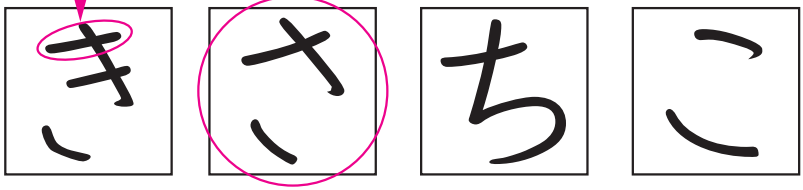
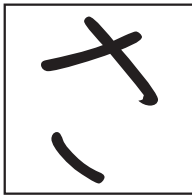
おてほん



おてほんには、
この まるが ないよ。

③

おてほん



おてほんには、
この せんが
ないよ。

文字を書くためには、形を見分ける力が必要です。このプリントには、同じ形を見分ける問題がでてきます。線の向きや位置をさがしてください。逆向きになっていると同じ形と間違えてしまうことがあるので、お子さんの答えをよく見てあげてください。